

教育相談の心やコミュニケーションを教師と子どもの関係づくり、授業に生かした事例

キーワード: リレーション ノンバーバル 子どもを肯定的に見る

この事例解説では、保護者からの相談を受け、アセスメントから、教師の指導スタイルを改善して行く個別支援、学級への支援に焦点をあててまとめました。

問題の概要

4年生にもち上がったB教諭は、1学期末の保護者面談で、C子の父から「可能であれば娘を転校させたいと妻が話している」と相談された。突然のことで驚いたB教諭が経緯を伺うと、C子は最近、夕方になると、「明日は学校に行きたくない」と泣き崩れる。母が理由を尋ねると、「クラスみんなに仲間外れにされている」と訴えているとのことだった。

B教諭は、学級内のいじめに心あたりがなかった。C子は、成績優秀でクラスのリーダー的な存在であった。落ち着いた学校生活を送っており、B教諭はC子が仲間はずれにされているとの認識をもっていなかった。

対応の概要

1 情報を収集、整理する

(1) 父の訴えを傾聴する

B教諭は、父の訴えを丁寧に傾聴した。母はかなり感情的になって落ち着きを失っている。母には、気になっているいることがあった。6月の算数の参観授業で、C子が授業中にうっすらと涙を流してたように見えた。翌日、母は連絡帳でB教諭に、「授業中、C子が涙を流していたようだったが、学校で何かあったのだろうか」と相談した。B教諭から「泣いていた？気がつきませんでした。今日1日、様子を観察していましたが元気に生活しているので問題ないと思います」と返事をもらい安心していた。

ところが、C子の訴えに動揺し、「あのときB教諭に相談したのに、いじめを隠していたとは何事だ。担任はC子のことをまったく見てくれない。あの担任では、C子が不登校になってしまう」と怒りがこみ上げている。

父は、「いじめとは別の問題のような気がするが、学校生活をもう一度充実させたい」とB教諭に支援を願った。

(2) B教諭の振り返り

面談後、B教諭は、C子の学習面、生活面、人間関係について振り返りを行った。小学校に入学してから、C子が働きかけなくても、友達が自然に集まり、その中心にいる子だった。3

年生の時、学級委員長に立候補し、優しく明朗快活な子だった。

4年生になりC子の変化に見落としがあることに気がついた。C子の一番の親友D子が5月末に転校した。この頃から、どことなく表情に明るさが見えなかった。徐々に授業で発言回数が減った。学期末テストで、成績に落ち込みが見れた。休み時間に一人で読書をしている場面が見られた。7月に入り、給食時間にうっすらと涙を浮かべて食べることができない時があった。C子が休み時間にB教諭の所に来て、「遊べる？」と声をかけたとき、「ごめん、テストの丸付けで忙しいからあとでね」と断ったことがあった。

B教諭は、C子の変化を見ていながら、C子は自分で自分の問題を解決することができる子という枠で理解したつもりになり、具体的な支援を何も行っていないことに気づいた。

(3) アセスメントと指導・援助方針

次の日のにC子と面接し、アセスメントを行い【表1】、2学期の指導・援助方針【表2】を整理した。

【表1】

C子との面接（聴き取った内容）
「いじめられていないけど、友達がいない」
「先生が遊んでくれなかった」
「授業で先生に当てられて、答えられない時、先生が怒った」「お母さんに理由を聞かれて、友達が遊んでくれないと話した」

アセスメントに基づくC子の理解
<ul style="list-style-type: none"> 一番心を寄せていた親友D子の転校によって、友達3人グループ（C子、D子、E子）がばらばらになり、もともとD子と仲よしのE子は別グループに入り、C子が孤立していたこと。 これまで、C子は自分で声をかけなくても周りに友達が自然に集まって遊ぶことができたため、自分からクラスの仲間に働きかけるスキルを身につけていなかったこと。 寂しさに耐えて、必死の思いで担任に「遊べる？」と声をかけたが、断られ、もう私の味方はクラスに誰もいないと受け止めたこと。 B教諭は授業場面でC子を怒った記憶がなかったが、「最近、発言が少ないからもう少し積極的だね」と声をかけたことが、さらにC子を心理的に追い詰めたこと。



【表2】

指導・援助方針	
C子へ	<ul style="list-style-type: none"> ・教師とC子との関係づくり(リレーション) ・C子の友だちづくりを進める支援を行うこと ・C子にとって教師が安心できる対象であること ・楽しみなら関係づくりができるスキルを身につけさせること ・保護者と情報交換を定期的に行うこと。
学級へ	<ul style="list-style-type: none"> ・C子以外のすべての子どもたちの適応状況を整理すること。 ・教師の行動スタイルを子どもがモデルにしていることから、教師がカウンセリングマインドを身につけること ・授業場面で教師のコミュニケーション(パーバルとノンバーバル)を意識化すること

2 2学期の取り組み計画と実際

(1) B教諭の学び

B教諭は夏休みにカウンセリングの研修会に出かけたり、児童理解、コミュニケーション、人間関係づくりの在り方について学習を積み重ねたりした。カウンセリングマインドを大切にしたい教師の基本的態度が大切なこと、生活面でのかわりとはもとより、授業もコミュニケーションの一形態であり、ノンバーバルが伝達する情報が作用をしていると気づいた。教師自身のノンバーバルに気づき、修正すること、子どものノンバーバルに気づき支援することの2つの観点をC子への支援、学級経営に生かすこととした。

教師自身のノンバーバルに気づく

B教諭は、同僚4人に頼んで模擬授業を行った。B教諭の授業スタイルは、黒板に字を書きながら話す型で、子どもに板書を見てノートを取ることを、聞くことの二重の負担をかけていること。指示と発問が曖昧で、子どもが戸惑うこと。机間指導が頻繁で落ち着きを感じないこと。発言に対して、肯定的な受け止めの表現がない、教師の意図に反した反応の時、表情が険しくなるため、子どもが教師の顔色をうかがうこと、イントネーションが平調なため、相手を問い詰めるような印象を与えること等が分かった。

子どものノンバーバルに気づく

C子が泣いていることに気づくことができなかったのは、教師の授業スタイルと関連していることがわかった。授業中、姿勢が崩れたり鉛筆でいたずらをしている子どもを、「もうあきてる」「そのようにしかできない」子だと感じ、注意を繰り返していた。「なぜそうなるのだろう」という問いをもていなかった。

A男から、「先生は、女子が廊下を走っていても、廊下を走らないようにと優しく話すのに、僕が廊下で走っているとお前はまた走っていると大声で怒る」と話された。教師自身が無意識的にA男は乱暴でいつもそのように振る舞っているとフィルターをかけて誤った理解をしていることがわかった。

C子への支援の実際

- ・教師のノンバーバルを意識し、傾聴のスキルを使って共感的なかわりをした。
例：あいさつのとき、返事を返したもらった嬉しさを伝えた：言葉かけを増やす
- ・休み時間に教師が遊びに誘い、仲間作りを促した。
- ・授業の導入等で人間関係づくりのスキル(構成的グループエンカウンターショートエクササイズ)を定期的に行った。
- ・授業のまとめやグループ活動で1対1の交流場면을意図的に作り、お互いの意見交流や肯定的な評価をするようにした。

B教諭の授業改善(ノンバーバルを中心に)

- 教師の動き**・・・授業中の適切な時点で教室の中を移動した。
- 教師の身振り**・・・ある意味を伝えるため身振り(手・頭・体・表情)を使った。
- 教師の声**・・・話し方やスピード、抑揚、表情を変えた。
- 強調**・・・重要なポイントは身振りやことば(こっちを見て、よく聞いて)を使って強調した。
- 相互作用**・・・子どもたちの授業への参加の形(先生と集団、先生と子ども、子どもと子ども)を変えた。
- 休止**・・・子どもたちに考える時間を与えたり、注意をひいたり、大切な点を強調するために話の休止をとった。授業の活動はいくつかの休止で分けられた。
- ことばと視覚の切り換え**
視覚的教材を、話を聞くのではなく、見ることでそこから情報を手に入れなくてはならないようなやり方を使った。

3 C子とクラスの変容

C子に対し、B教諭から働きかけ、遊びを通して、二者関係づくりを行った。次第にC子は教師に心を開きうち解け信頼感をもつようになった。ほどなくして、明るさを取り戻し、2つのグループと誘いあって仲良く遊ぶ姿、学習場面で、進んで発言する場面が頻繁に見られるようになった。学習発表会で、指揮者になり、「みんなの協力があってすてきな合唱ができました。クラスのみなさんは、私の大切な仲間です」と感想を述べた。クラスは、子どもたちのかかわり合い、発言が積極的に活気がみられ、一つの指示で動くことができるようになってきた。

実践のポイント

教師が自分の行動スタイルを振り返って、個別の支援からクラス全体の支援へとつなげ改善を行い、教師と子ども、子どもと子どもの関係づくりが促進されたこと。教師は、子どもの表面的行動の背後にある内面に心を寄せながらかわりをもつことができた。学級集団へのアプローチを学習面を中心に進め、子どもたちの意欲、所属感を高めることにつながったこと。子どもからのノンバーバルのサインは教師へのメッセージであり、「こう指導して欲しい」「こうかわってほしい」というかわりを求める声であること。

